

令和6年(2024年)5月17日

関係高等学校各位

北海道高等学校体育連盟登山専門部長
(北海道旭川工業高等学校長)

中 島 泰 彰

高校生の安全登山に関する指針について

北海道高体連登山専門部は登山部活動の安全について啓蒙や研修を続けてきました。昨今のヒグマの出没状況や過去の事故等を背景にした登山活動へのリスクマネジメントを徹底し、顧問の先生の引率の元で登山部活動が安全かつスムーズに実施されるように安全登山に関する指針を示します。

記

1 参加

- (1) 生徒及び保護者に登山計画書を提示し、参加の承諾を得る。
- (2) 体調不良の生徒は参加させない。

2 登山行動における安全対策

- (1) 天候状況、活動場所の状況を事前にリサーチして状況を共有する。状況の悪化が予想される場合は行程の短縮または行動を中止する。
- (2) 地図とコンパスを必ず携行する。また、緊急時にはGPS等も活用して現在地を確認する。
- (3) 救急薬品、ツェルトまたはシェルター、補助ロープ、非常食等を必ず携行し、低体温症や熱中症等への対応を万全にする。
- (4) 緊急連絡を行うための携帯電話とモバイルバッテリー等を携行し、緊急時は躊躇無く救助要請を行う。また、携帯電話の感度が低い山域があるため、デジタル簡易無線機も携行する。

3 ヒグマ対策

- (1) 北海道に広く生息するヒグマ対策については、複数の人間で固まって行動するとともに、ホイッスルや鈴、手拍子、話し声などの音でヒグマを回避する。
- (2) 熊撃退スプレーを携行し、ヒグマが近づいてくる場合には風向きに注意して使用する。

4 その他

デジタル簡易無線機及び熊撃退スプレーは令和6年度に登山専門部より加盟校へ配付予定である。必要に応じて各学校で追加購入等の対応をすること。